

## 長崎県建築鉄骨研究会 創立4周年記念講演会

1. 開催日：平成25年2月12日（火）14：00より
2. 会場：長崎大学工学部大会議室
3. 主催：長崎県建築鉄骨研究会
4. 共催：一般社団法人 JSCA九州支部長崎地区会
5. 後援：長崎県・（協）長崎県鉄構工業会・（社）長崎県建築士事務所協会・（社）長崎県建築士会
6. 参加者：50名 行政・設計者・施工者・製作者ほか

（鉄骨研究会事務局末永レポート）

### 〔目的〕

当会創立4周年を迎えるにあたり、講師を招き記念講演会を開催（設立：平成21年1月20日）

### （1）開会の挨拶 長崎県建築鉄骨研究会 修行 稔 会長（長崎大学名誉教授）



長崎県建築鉄骨研究会 修行 稔 会長



修行会長より、当会設立に至る経緯、1年目、2年目に取り組む事となった長崎県における耐震補強標準図等の作成、耐震診断・補強設計等技術講習会の開催、3年目には実溶接作業の立会見学会の実施等、事業活動について説明がなされた後、4周年記念となる本日の講演では、お二人の講師の先生方より年々進化する建築鉄骨の最前線の話伺えることになったので、良い刺激にしていきたいとの挨拶がなされた。



### 司会進行

一般社団法人 JSCA九州支部長崎地区会  
陣川 好高 会長



(2) 講演 14:00～

司会進行を務める一般社団法人JSCA九州支部長崎地区会の陣川会長より、本講演会のスケジュールと講師お二方の経歴及び業績について紹介され、その後講演が開始された。

◆長崎大学工学部 教授 玉井 宏章 氏

14:00～15:00 「鉄骨接合四方山話—あたらしい高強度鋼ボルト接合にむけて—」



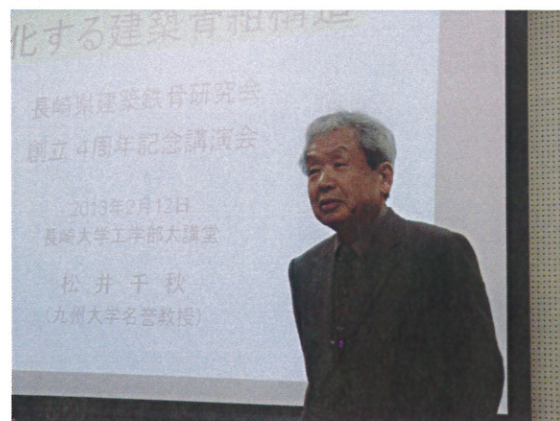
長崎大学工学部 玉井 宏章 教授



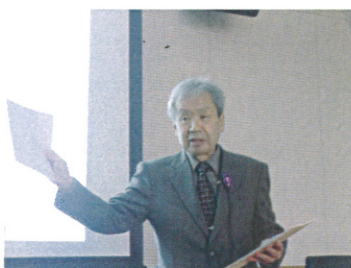
「高強度鋼用の複半月テーパ充填ボルト接合法」として、溶接を行わない場合の接合方法、特にボルト接合のせん断力伝達に関して問題点を整理し、これらを解決する新たな接合方式を提案するとともに、その接合方法の優位性を例示。実験結果に基づき、2011年の論文報告資料をもとに詳細の説明がなされた。

◆九州大学名誉教授 松井 千秋 氏

15:10～16:40 「進化する建築骨組構造」



九州大学 松井 千秋 名誉教授



耐震性に優れた構造として、また多様な空間を有効に構成できる構法として普及が進むCFT構造（コンクリート充填鋼管構造）に関し、この分野の第一人者としての立場から見た構造特性や現状及び課題について解説がなされた。現時点での使用例はほぼ超高層や中高層建築に限られており、中低層建物への普及を期待したいと講演を結ばれた。